

寒さが厳しくなり暖房器具を使用する季節となりました。また、空気が乾燥し火災が発生しやすくなるため、日ごろから火の用心のポイントをおさえましょう。

火の用心のポイント

1. 放火対策を万全に

ゴミは指定日の朝に出すなど、家の周りに燃えやすいものを置かない。車庫、物置などの戸締りも忘れずに。



2. コンロから離れない

コンロの周りに燃えやすいものを置かない。火がついているコンロから離れるときは、必ず消す。



3. 子どもの火遊びに注意

子どもには火の安全な扱い方や怖さを教える。子ども手の届くところにマッチやライターを置かない。



4. 寝たばこ、ポイ捨ては厳禁

火がついたたばこを放置しない。喫煙するときは、深い灰皿を使い、吸い殻を捨てる時には必ず水につける。



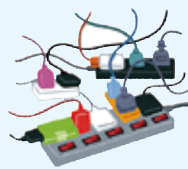
5. ストープの周りを整理

衣類や布団など、ストーブのまわりに燃えやすいものを置かない。近くで洗濯物を乾かさない。



6. 配線周りはきれいに

複数のコードをまとめたり、たこ足配線にしない。コードの上にものを乗せるのも危険。コンセント周りは定期的に掃除する。



SDGsって、何だろう?



ゴール15 陸の豊かさも守ろう

SDGsとは…
世界がさらに良くなるために、2030年までに全世界の人々が取り組むべき目標のことです。

今月の「SDGsって、何だろう?」は、15番目のゴール『陸の豊かさも守ろう』です。

土砂災害や有害鳥獣被害の発生も懸念される状況になっています。

森林を守るために…

この「ゴール」では、「持続可能な形で森林を管理すること」などを目標としており、12個のターゲットが掲げられています。

森林は、地球上の陸地面積の約30%を占めています。私たちが吸う空気や飲み水、食料の供給、さらには土砂災害を防ぐ働きなど、森林は私たちの生命を維持する役割を果たしています。

松田町では、人口減少や高齢化など担い手不足により、森林に手が入らず、荒廃が進み、水源環境の維持が困難になるとともに、

さらに、有害鳥獣被害防止対策を強化するため、田畑の荒廃地抑制や農業に対する支援などを行っています。

参考…国際連合広報センター、農林水産省